

令和元年度 事業実績報告書

公1 県民主体の国際交流・協力活動の促進

(1) 国際ふれあい広場 in こうち開催事業

県民の国際交流に対する理解と関心の醸成、活動参画へのきっかけづくりなどを目的として、国際交流に関する総合イベントを開催した。

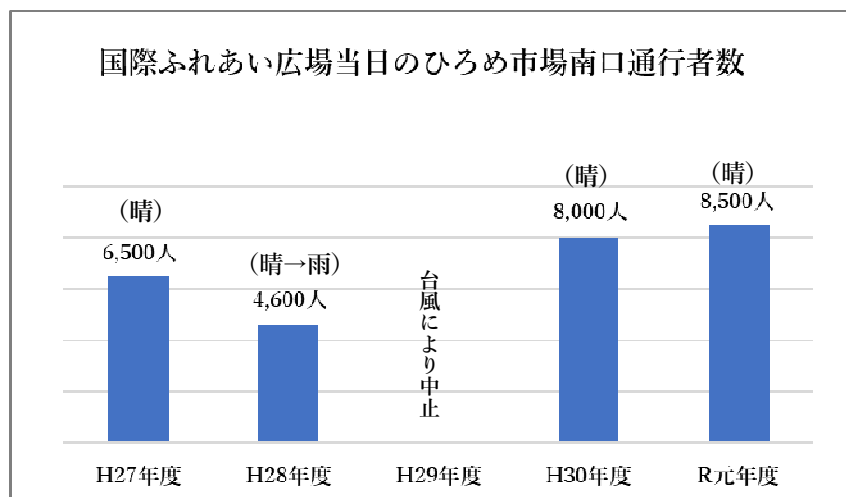
開催日：令和元年10月6日（日）

場所：ひろめ市場よさこい広場・大橋通商店街北側

テーマ：「高知にいながら世界を身近に！」

入場者数：8,500人

内容：参加団体による写真展示・交流・文化体験・相談ブース、外国の民芸品・食品販売、高知県外国人生活相談センターによる出張相談会、民族舞踊・音楽・ファッションショー等のステージ発表、SDGs紹介等



(2) 親子で学ぶ国際理解講座開催事業

子供たちに国際的な関心を持ってもらうための手段として料理を取り上げ、親子で調理することにより親子の絆を深め、さらに講師となる在住外国人や南米研修員とのふれあいを通して、多文化共生とともに高知県人の南米移住に対する理解を促進する講座を開催した。

①開催日：令和元年8月6日（火）

場所：こうち男女共同参画センター「ソーレ」調理室

講師：高知県立大学留学生（エジプト出身、ネパール出身）

参加者：26名

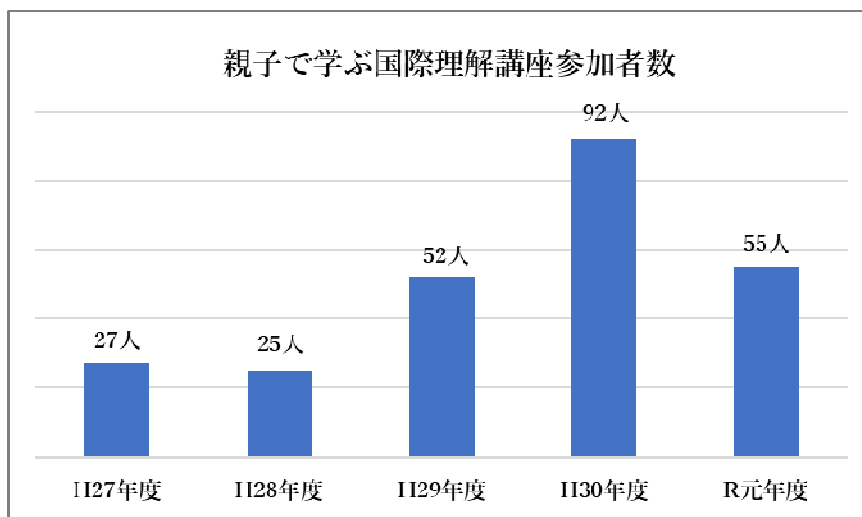
②開催日：令和元年8月8日（木）

場所：こうち男女共同参画センター「ソーレ」調理室

講師：須崎市国際交流員（フランス出身）

参加者：29名

(計 55名)



(3) 異文化理解(出前)講座開催事業

母国の生活様式や習慣等をテーマに、県国際交流員や留学生等を講師として公開講座を開催したほか、学校に派遣して出前講座を開催し、県民の異文化への理解を深めた。

○異文化理解講座

①開催日：令和元年6月22日(土)

場 所：オーテピア高知図書館

講 師：JICA 研修員(ブルキナファソ出身)

受講者：130名

②開催日：令和元年7月29日(月)

場 所：黒潮町保険福祉センター

講 師：県海外技術研修員(ブラジル出身、パラグアイ出身)

受講者：16名

③開催日：令和元年11月30日(土)

場 所：四万十市役所 303 会議室

講 師：県海外技術研修員(ブラジル出身)、四万十市国際交流員(中国出身)、
こうちカポエイラセンター長(日本出身)

受講者：16名

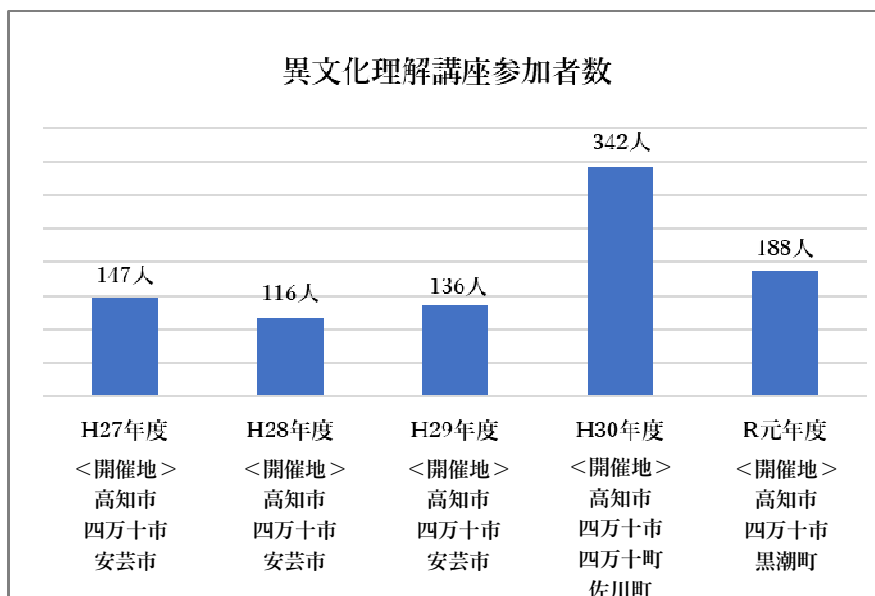
④開催日：令和2年2月8日(土)

場 所：高知県国際交流協会

講 師：高知大学留学生(ベトナム出身、カザフスタン出身、インドネシア出身)、
外国人生活相談センター長(日本出身)

受講者：26名

(計 188 名)



○異文化理解出前講座

開催日：令和元年 8月12日、8月13日、8月30日、10月17日、10月21日、11月7日、11月9日、11月16日、12月19日、令和2年 1月10日、1月16日、2月19日

場所：高知文化プラザかるぽーと、高知県国際交流協会、高知小学校、長岡小学校、中芸高校、国際中学校、野市東小学校、高知南高校、須崎市立吾桑小学校、青柳中学校

講師：県海外技術研修員、県国際交流員、高知市国際交流員、外国語指導助手、高知県立大学留学生、南高校留学生、高知工科大学留学生

受講者：一般 237名、高知北高 33名、高知小 61名、長岡小 40名、中芸高 47名、国際中 51名、野市東小 74名、南高 100名、吾桑小 35名、青柳中 90名
(計 768名)

(4) 国際交流ボランティア活用事業

当協会及び外部からの依頼に応じて、当協会に登録している国際ボランティアを活用または紹介し、県民と外国人との交流機会の増大を図り、また交流を円滑にすることにより県内の国際交流の推進に寄与した。

紹介実績：語学ボランティア 43名(延べ)

ホームステイ先 10家庭(延べ)

※ボランティア登録者数 (R2.3.31 現在)

ホストファミリー：117名

日本語ボランティア：211名

語学ボランティア：301名

公2 国際交流、協力活動等の情報収集と提供

(1) 協会機関誌（WINDOW）発行业業

高知県国際交流協会の活動報告をはじめ、県内の民間国際関係団体の紹介、友好姉妹都市学生等交流事業などを掲載した WINDOW を2回発行した。

発行月：令和元年9月、令和2年3月

発行部数：各2,300部

内容：A4版8ページ

(2) インターネット情報収集・提供事業

ホームページやメールマガジン、フェイスブックを充実し、県内外の国際交流情報や国際ボランティア活動、民間国際交流団体の情報を広く県民や在住外国人に提供した。

※メルマガ（月1回配信）には、265名が登録。（R2.3.31現在）

(3) 市町村連携情報提供事業

市町村との共催で開催したイベントにあわせて、パネル展示や資料配布など協会の事業説明・PR活動を実施した。

①異文化理解講座 in 四万十市

開催日：令和元年11月30日（土）

場所：四万十市役所

公3 民間国際交流・協力団体活動の促進

(1) 民間国際交流・協力団体連絡協議会開催事業

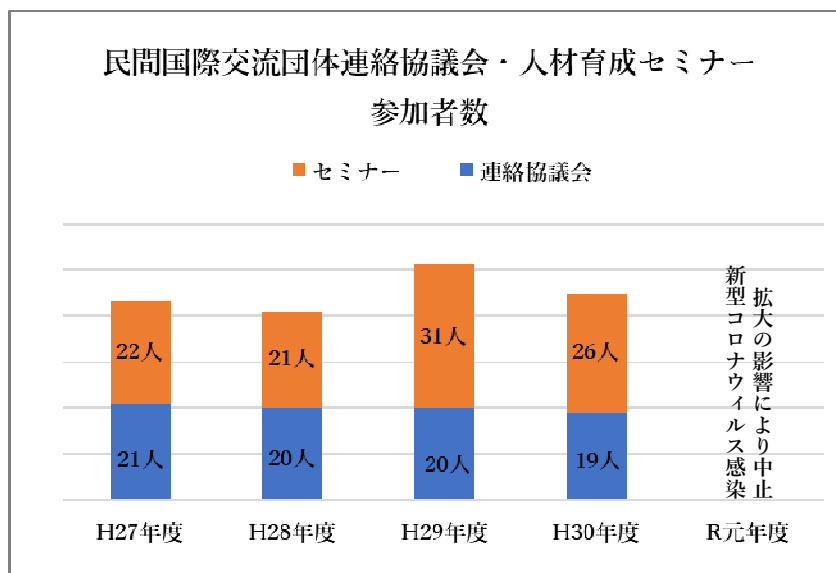
県内の民間国際交流・協力関係団体との情報交換等を通じ、県内国際交流・協力の円滑な推進を図るための会議の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。

(2) 民間国際交流・協力団体助成事業

草の根民間国際交流、協力支援の一環として、県下の民間国際交流関係団体が実施する国際交流・協力事業等に対して助成を行った。令和元年度は4団体に対し、総計512,260円を補助した。（詳細は別表1のとおり）

(3) 民間国際交流・協力団体人材育成セミナー事業

県内の民間国際交流関係団体の活動の活性化と、各団体をリードする人材を育成するためセミナーの開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。



公4 在住外国人との共生

(1) 日本語講座開催事業

在住外国人を対象に、生活に必要な日本語講座を開催した。

①日本語講座開催事業

開催期間：令和元年5月14日（火）～令和2年2月20日（木）

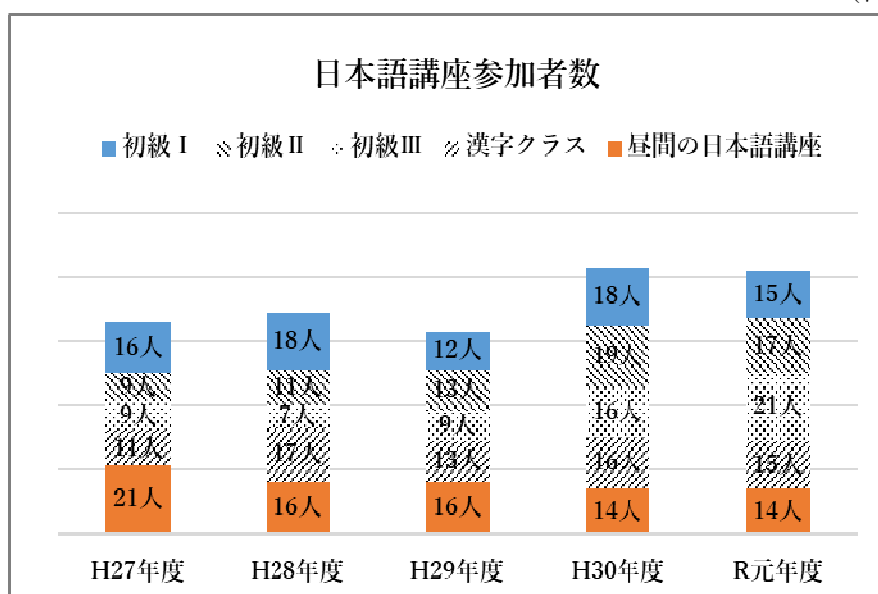
開催場所：高知県国際交流協会研修室

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により3月の講座は中止した。

受講者：初級Ⅰ→初中級 15名 初級Ⅱ 17名 初級Ⅲ 21名

漢字読み書きクラス 15名 昼間の日本語講座 14名

(合計 82名)



②地域における日本語教室スタートアップ支援

地域の日本語教室（須崎市・土佐市）の運営を支援するため、検討会へのアドバイザーの派遣や教材の調達支援を行った。

ア. 教室運営検討会の実施（土佐市）

開催日：令和元年6月30日、7月31日、9月29日、令和2年3月29日

場 所：土佐市立とさし男女共同参画センター

参加者：各 15名程度

イ. 教室立ち上げに向けての検討会の実施（須崎市）

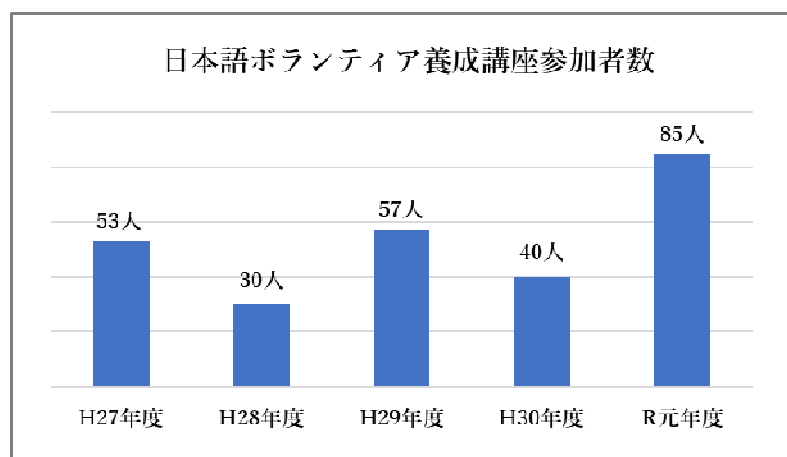
開催日：令和元年11月10日（日）、12月14日（土）

場 所：須崎市立多ノ郷公民館

参加者：各 約20名

*「高知日本語サロン須崎支部」として約20名の日本語ボランティアが令和2年1月から須崎市で教室を開始

(2) 日本語ボランティア養成講座開催事業



①日本語ボランティア研修 *経験者対象

県内在住外国人に日本語を教えるボランティア向けの研修（3月20日予定）は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。

②日本語ボランティア養成講座（初級）

○須崎市

開催日：令和元年10月5日（土）、19日（土）、26日（土）、11月9日（土）、10日（日）

場 所：須崎市立多ノ郷公民館

講 師：高知日本語サロン 尾中 美代子氏 池 純子氏

受講者：34名

○交流会

ボランティア同士の交流、またボランティアと外国人住民同士が顔見知りになり、日本語ボランティア活動がしやすくなることを目的に、一緒に外国料理（フィリピン料理）を作り交流会を行った。

開催日：令和元年11月10日（日）

場 所：須崎市立多ノ郷公民館

講 師：農業分野の技能実習生10名（フィリピン出身）

参加者：30名

③日本語ボランティア養成講座（中級）

○土佐市（平成 31 年 2 月から教室運営開始）

開催日：令和元年 8 月 4 日（日）

場 所：土佐市立蓮池コミュニティセンター

講 師：愛媛大学非常勤講師・えひめ JASL 築地伸美氏

テーマ：「日本語学習者の発音にどう対処するか」

参加者：24 名

④やさしい日本語での在住外国人支援や外国人とのコミュニケーションに関するセミナー

日本語ボランティアに加え、外国人を雇用する事業所や公的団体など広く対象を設け、外国人住民にもわかりやすい日本語でのコミュニケーションの実践を目的に、演習を含むセミナーを 2 日間開催した。

共 催：南国市国際交流協会

開催日：①2 月 3 日 ②2 月 4 日

場 所：①高知ぢばさんセンター、②高知自治会館

テーマ：①外国人従業員とのよりよいコミュニケーション

—外国人材育成の観点から—

②地域とつながるやさしい日本語という手段

—暮らし・教育・医療・防災の場面で—

講 師：堀 永乃（一般社団法人グローバル人財サポート浜松 代表理事）

参加者：①57 名 ②73 名 ※うち日本語ボランティア：①15 名 ②12 名

（3）在住外国人の生活相談事業（高知県からの受託事業）

県内在住外国人の生活相談の窓口となる「高知県外国人生活相談センター」を令和元年 5 月 31 日に開設

①相談件数：総件数 321 件（内訳：外国人 200 件、事業者等 121 件）

②多言語対応：相談員による直接対応に加え、三者間電話通訳サービス（17 言語対応）及び携帯型翻訳機（74 言語対応）を活用、また 11 月より中国語、インドネシア語、ベトナム語の通訳・翻訳アルバイトを週 1 日程度配置して対応した。

③相談会の実施：高松出入国在留管理局による専門家相談会や土佐市・黒潮町等にて出張相談会を実施した。

④広報・PR 活動：ホームページ、リーフレット・携帯カードの配布、各種の交流イベントや日本語教室等での PR 活動、須崎市・土佐清水市など 4 市の広報誌掲載等を通じ、幅広く広報活動を行った。

⑤運営協議会の開催：センターの状況報告・各機関からの提言等による情報共有と共に、課題や今後の取り組み等について協議を行った。（5 月・7 月・10 月）

（詳細は別表 2 のとおり）

(4) 在住外国人のための生活情報冊子の発行・ブログ発信事業

県内在住外国人が安心して快適に暮らせるように、高知の文化、歴史、生活等に関する情報を提供するため、生活情報誌「Tosa Wave」（英語及び中国語版、日本語ルビ付き）を3ヵ月に1回発行、またブログ（英語版）を発信した。

①生活情報冊子

発行部数：各号 1,000 部

主な配布先：各市町村外国人登録担当窓口、英会話学校、教会、県内国際交流協会、県内各大学、技能実習生受入機関、ゲストハウス等

②ブログ 更新回数：16 回

(5) 在住外国人への防災・災害情報提供事業

県内在住の外国人が南海トラフ地震等の被害に遭わないため、また、その被害をできるだけ少なくするための取り組みを行った。

①語学サポーター活動の円滑化と、万一に備えてボランティア活動保険に加入

加入者数：24 名

②大学での外国人向け安全防犯講習時等における南海トラフ地震対策講座への

講師派遣 派遣回数：2 回 受講外国人数：20 名

③日本語教室内での防災交流会（高知市・土佐市）の実施

内容：防災食づくり、ハザードマップ確認 等

(6) 語学ボランティアを対象とした通訳・翻訳講座開催事業

語学ボランティア（災害時語学サポーター）登録者を対象に災害時の外国人支援を想定した、通訳・通訳、避難所巡回などの訓練を行った。

開催日：令和元年9月14日（土）

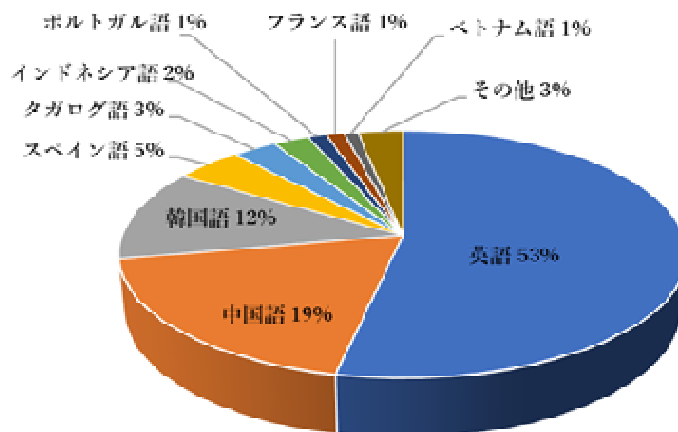
場所：高知県人権啓発センター 6階ホール

講師：NPO 法人多文化共生マネージャー全国協議会 理事 高橋伸行氏

（公財）仙台観光国際協会 国際化推進課長 須藤 伸子氏

受講者数：27 名

語学ボランティア登録者割合



公5 友好姉妹都市交流の推進

(1) 高知県友好姉妹都市交流推進助成事業

高知県と友好姉妹提携関係にあるフィリピン・ベンゲット州、中国安徽省との民間レベルでの交流を促進した。(詳細は別表3のとおり)

(2) 友好姉妹都市学生等交流推進事業

高知県と姉妹交流協定を締結している韓国・全羅南道から8月に高校生を受け入れ、県内高校生との交流事業を実施する予定であったが、日韓情勢の悪化により中止とした。

公6 海外県人会活動の支援

(1) 海外県人会(中南米)活動支援事業

ブラジル、パラグアイ、アルゼンチンの各県人会の運営や会員相互の親睦を図るための交流事業等について、各県人会活動を支援した。

県人会名	会員数 (H31.4現在)	会長名	補助金額(円)
ブラジル県人会	240名	片山 アルナルド	323,000
パラグアイ県人会	658名	渡辺 土佐男	282,150
アルゼンチン県人会	199名	飯崎 誘造	201,400
合計			806,550

※会員数は各県人会から県に報告があった人数

公7 海外技術協力の推進(高知県からの受託事業)

(1) 高知県海外技術研修員受入事業

中南米県人移住地域の青年を受け入れ、県内関係機関等で必要な専門知識や技術を修得させるとともに、県民との交流等をとおして国際友好親善に寄与した。

事業名	国名	性別	年齢	研修テーマ	研修先	研修期間
高知県海外 技術研修員 受入事業	ブラジル	男	26	食品加工	(株)タナカシヨク	令和元年7月16日～ 令和2年3月5日
	パラグアイ	男	27	農業(土壌 管理)	高知県農業技術センター	令和元年6月17日～ 令和2年3月5日
	パラグアイ	女	20	グラフィック・デザイン	(学)龍馬学園 国際デザイン・ビューティ カレッジ	令和元年7月16日～ 令和2年3月5日

(2) 高知県協力交流研修員受入事業

令和元年度は受入実績なし。